

OSATのベストパートナー

ジョイントベンチャーを起源とするエスタカヤ電子工業株式会社は、ワンストップサービスを提供できるOSATの統合企業となっている。

エスタカヤ電子工業株式会社は、1979年にシャープ株式会社とタカヤ株式会社の合併会社として設立され、日本市場と国際市場の両方のクライアントに対応する、半導体製造の後工程 (Outsourced Semiconductor Assembly and Test: OSAT) の信頼できるプロバイダーだ。2020年に独立し、スマートフォン、テレビ、カメラ、ゲーム機など、私たちが日常的に使っている電子機器の主要部品である半導体製品を製造している。

一方で、上記で挙げた分野以外にもさまざまな事業を行っているのも特徴だろう。「我々の事業は、主力事業であるLSIデバイス・モジュールのOSATのほか、半導体製造装置の製造・販売、レーダーモジュールの研究開発、環境関連製品の販売・保守などがある。」と語るの代表取締役社長の柚木太志氏。

このような総合サービスを提供することが、同社の大きな特長でもあるのだ。「OSAT事業では、さまざまな種類の半導体パッケージを扱っており、独自の技術でワンストップサービスを提供している。半導体製造のプロセスには、ウェハテスト、ダイシング、研磨、



カメラモジュール
用イメージセンサ

接合、封止、成形、最終テストなどが含まれる。私たちの強みは、これらすべてを提供できることと、前工程に位置づけられるウェハテストから後工程の最終テストまでの製造工程とテストノウハウがあることだ。」

一方、半導体製造装置の供給では、ベトナム関連会社であるSAIGON STECが大きな役割を担っている。「ベトナムの工場は、海外向けの物流に活



「我々のお客様は、我々がOSATの要求を満たすことができると確信しています」

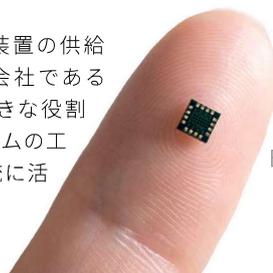
エスタカヤ電子工業株式会社 代表取締役社長 柚木 太志



レーダーモジュールの導入例

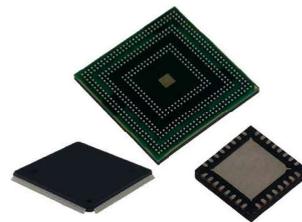
用している。お客様のご要望をお聞きし、それに基づいた製造装置の開発に努めている。これらの設備は、もともと自分たちの生産現場で使われていたもので、そのノウハウをお客様に販売することができますと考えた。」

研究開発部門では、さまざまな用途向けのレーダー技術を開発しているという。「今、ミリ波レーダーは、自動運転技術や運転支援技術の発展を目的とした自動車分野で特に注目されている。しかし、ミリ波レーダーは自動車分野以外にも、例えば川の水位を調べて洪水を未然に察知するなど、私たちの生活のさまざまなシーンで活用することができるものでもある。また、距離や角度を測れるだけでなく、バイタルサインも検出できるので、人の呼吸や心拍数を



BGA

モニターする機能もあり、ヘルスケアなどにも活用できるだろう。」
このようなテクノロジーの活



BGA (Ball Grid Array)

用は、国連の持続可能な開発目標の一部である「安全で安心な社会」の実現に貢献するという同社のコミットメントと密接に関係している。美しい地球を未来に残すという誓いを込めた同社の環境製品ポートフォリオも同様である。省エネ・蓄エネ・創エネに特化したサービスで、ソーラーパネルの洗浄やコーティングなどのメンテナンスサービスも行っている。

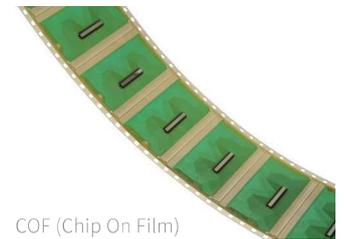
同社による SDGs の追求は、中長期的な企業戦略であるSTEC



カメラモジュール全自動テスター

VISION 2030の不可欠な要素であり、この戦略には新しいパートナーシップの構築・推進も含まれている。「日本の半導体セクターは縮小しているが、日本でのビジネスは復活すると信じている。その時に、半導体分野の主要企業のひとつになりたいと思っている。」

「我々のコア技術であるセンシング技術やパワーデバイスの製造・開発技術は、半導体業界において非常に注目されている。今後もこれらの分野に注力し、協力できるパートナーを見つけていく。



COF (Chip On Film)

後工程の受託であるOSATサービスは強力だが、ウェハのサプライヤがいなければこれらのサービスを提供できないため、前工程の領域でパートナーを探している。」

「パートナー探しは決して国内に限定しているわけではなく、海外のパートナーにも門戸を開いている。海外企業にとって我々は、世界中のエンドユーザーに製品を供給するための優れたパートナーになり得るだろう。エンドユーザーへの納期に合わせた高品質・低コストのサービス提供を目指し、この目標を実現できるパートナーと相乗効果に期待している。」



www.s-takaya.co.jp